

農業ひろさき

2018年１月１日　(第143号)
(平成30年１月１日)

編集と発行
弘前市農業委員会
〒036－8551
弘前市大字上白銀町１－１
☎(0172)　40－7104

「農地利用の最適化」の実践に向けて

29年度青森県農業委員会大会



11月24日、青森市で開催された平成29年度青森県農業委員会大会では、当農業委員会の要望事項も盛り込まれた「農業・農村の持続的発展と競争力強化に向けた政策提案」ほか３件が提案され、満場の拍手で承認されました。

また、今大会で、伊藤公正委員が農政功労委員として青森県農業会議会長賞を受賞しました。

【決議された政策提案の概要】

１．担い手への農地利用集積施策の改善方策	農地の利用集積を加速するための環境整備／相続未登記農地等の対応策の検討／農地所有適格法人の議決権要件の堅持
２．担い手・経営対策	りんご園における果樹経営支援対策事業等の拡充／新規就農者の定着のための地域支援体制の整備／農の雇用事業の充実・強化／「営農人材バンク（仮称）」の設置　など
３．中山間等地域対策	「日本型直接支払い」などの地域を守る施策の拡充／空き家対策と第三者経営継承を推進する支援体制の構築／鳥獣被害対策の強化　など
４．「多様な農業の共存」を基本とする国際農業交渉	
５．消費税率引き上げ・軽減税率の導入に伴う納税環境の整備	
６．新たな農業委員会制度の定着支援とネットワーク機能の強化	

弘前での農村研修は…　《農林水産省の若手職員》



蛯名副市長に報告をする（左から）津久井さん、渡辺さん、橋本さん

農林水産省では、入省２年目の職員を対象に農林漁業者の家に滞在し、農作業や農家の生活を体験することにより、地域の実態に即した農林水産施策の企画・立案ができる人材を養成することを目的に「農村研修」を行っています。

今年度は、津久井理さん、渡辺夏奈子さん、橋本怜弥さんの３人が、昨年10月に当市を訪れ、受入農家となった工藤達雄さん（一町田）、桜庭文子さん（高岡）、平井秀樹さん（下湯口）の家に１ヶ月間宿泊しながら、りんごの葉取りや収穫などの農作業を体験し農家の生活・文化を感じ取っていました。研修を終え、報告のため市役所を訪れた３人は「りんごの繁忙期に人手が足りないことを痛感した」「葉取らずりんごの味の良さを消費者にもっと知ってもらいたい」「担い手となる後継者不足にバックアップ体制が必要」と話していました。

報告を受けた蛯名副市長は、労をねぎらい「今回経験したことを今後の仕事に生かしてもらいたい」と激励しました。

年頭にあたって



弘前市農業委員会
会長 成田 繁則

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

「一年の計は元旦にあり」と申しますように、皆様におかれましても新たな年の農業経営に向け、思いを新たにされていることと存じます

昨年の本市農業を顧みますと、りんごは開花時期の強風で中心花の結実が平年を下回りましたが、以降は、台風による被害も少なく、米も、低温・日照不足はあったものの、生産量は平年並みを確保するなど、出来秋にほっと胸をなで下ろされたことと思います。また、４年連続の「特Ａ」が期待される「青天の霹靂」については、県をあげてのＰＲ活動で認知度は高まりつつあり、関連商品の拡充など今後も期待が寄せられるところです。しかしながら、農業を取り巻く情勢は絶えず変化しており、りんごでは、農林水産省の調査で、本県の結果樹面積が統計調査開始以来、初めて２万㌶を下回るなど高齢化や担い手不足の影響が顕在化し、米では、平成30年産から国の生産調整（減反）による生産数量目標の配分がなくなります。地域で生産数量の目安を設けることで、安心して需要に応じた米づくりができるよう念願するところであります。

当農業委員会も新体制に移行し、今年で３年目となります。これまでとは異なる状況の中、手探りながらも農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し「農地利用の最適化」に向け、現地調査や人と農地のマッチング、要請活動など一歩ずつ歩を進めているところです。本年も、引き続き農業・農村の持続的発展のために活動して参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして良い年でありますよう祈念いたします。

りんご園等改植事業（平成30年春・秋植え分）

市では、りんごや特産果樹の改植事業（平成30年春・秋植え分）の実施受付を行います。補助事業の活用をお考えの方は下記期間内にお申し込みください。

◆補助対象者　果樹栽培農家または農地所有適格法人
※丸葉は60歳未満（平成31年3月末時点）の方に限ります。

◆事業内容
①りんご…わい化・丸葉への新植・改植に要する経費
②特産果樹（ぶどう、もも、おうとう、なしほか）
…新植・改植に要する経費
③事業実施後の未収益期間（4年間分）の園地管理費用に対する補助

◆採択基準
植栽面積が地続きで2㌃以上かつ新植・改植であること。
※補植（植栽する木と残す木が交互に並ぶ）は対象外です。

◆植栽間隔
①りんご（わい化）：列間4～6㍍、樹間2～3㍍
②りんご（丸葉）：列間・樹間ともに6～9㍍
③特産果樹：種類ごとに異なりますので、お問い合わせください。

◆植栽面積の算定方法　列間距離×樹間距離×植栽本数

◆補助対象経費　苗木購入費、資材購入費、植栽関連費、支柱購入費など

※補助対象経費となる苗木などを、市外に本店を有する業者から購入する場合は「理由書」の提出が必要となります。

◆補助額
〇新植・改植部分
①りんご（わい化）…補助対象経費の実費、もしくは定額（10㌃あたり16万円）のいずれか少ない額以内の額
②りんご（丸葉）・特産果樹：補助対象経費の実費、もしくは定額（10㌃あたり8万円）のいずれか少ない額以内の額
〇未収益部分…定額（10㌃あたり10万円）以内の額
※この金額は4年間分であり、一括交付します。

◆申込期間
2月1日（木）～2月14日（水）
※園地の所在地（番地まで）・面積、品種・本数・植栽間隔、改植の場合は伐採品種・本数をお知らせください。
※植栽予定図をお持ちください。

■問い合わせ先　りんご課生産振興係（市役所前川本館3階）
☎40－7105
※今後、内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

人・農地プラン変更に向けた集落座談会の開催について

「人・農地プラン」は、地域の話し合いに基づき、今後の地域農業のあり方などを定める計画です。

プランの変更にあたり、地域農業者からの意見の集約や合意形成を図るため、下記の日程で集落座談会を開催します。

今回は、プラン掲載のメリットである補助事業や収入保険制度などを紹介します。

「地域の中心となる経営体」としてプランへの掲載を希望する方や、補助事業の活用を検討している方は、該当する地域の集落座談会への出席をお願いします。

地域名	日程	時間	場所
岩木	2月1日(木)	10:00～	中央公民館岩木館
藤代・船沢・高杉		13:30～	高杉ふれあいセンター
東目屋	2月2日(金)	10:00～	東目屋公民館
相馬		13:30～	相馬やすらぎ館
清水	2月6日(火)	10:00～	清水公民館
千年		13:30～	千年公民館
新和	2月7日(水)	10:00～	新和公民館
裾野		13:30～	裾野公民館
石川	2月8日(木)	10:00～	石川公民館
旧市・和徳・豊田・堀越		13:30～	総合学習センター

※事前の申し込みは不要です。

■問い合わせ先　農業政策課農業振興係（市役所前川本館3階）
☎40－0767

りんご新品種栽培研修会について

市では、りんごの新品種の動向、農業者が行うりんごの民間育種について研修会を行います。興味のある方はご参加ください。

当日は、りんごの新品種などの試食会があります。

◆日時　1月19日（金）午後2時から
◆場所　中央公民館相馬館「長慶閣」（相馬庁舎向かい）
◆講師　板柳町産業振興公社りんごワーク研究所
りんご指導監　今　智之 氏
◆受講料　無料
●研修会終了後に、収入保険制度の説明会も行う予定です。
■問い合わせ・申込先
りんご課生産振興係（市役所前川本館3階）
☎40－7105



「弘前市りんご公園ウィンターフェスティバル」開催

◆日時　1月27日（土）・28日（日）午前10時～午後3時
◆場所　弘前市りんご公園（清水富田字寺沢）
◆参加費　無　料
◆内容　そり滑り、絵本読み聞かせ、津軽昔語り、雪上レク、雪上プチSASUKE、雪上障害物競争などを予定。



■問い合わせ先　弘前市りんご公園（担当：齋藤）　☎36－7439

りんご共済　加入申し込み受付中！《農業共済組合へ》

～自然災害からりんご経営を守りましょう～

りんご産業イノベーションセミナー
～AI(農業情報科学)がつなぐりんご産業の未来～

りんご産業を将来に繋ぐため、ＡＩやＩＣＴを駆使した最先端の農業の現状と展望についてご紹介します。

◆**日時**　２月３日（土）
午後１時30分～（約２時間を予定）

◆**場所**　アートホテル弘前シティ（大町１丁目）
「３階プレミアホール」

◆**内容**　・ＡＩ農業や現在当市で取り組まれている先進的なりんご栽培。
・農林水産省が推進するスマート農業の現状と展望について。
講師：慶應義塾大学 環境情報学部准教授／医学部准教授（兼担）神成淳司氏ほか
※詳細は、市ホームページに掲載します。

◆**参加料**　無料

◆**申込方法**　２月２日（金）までに、電話かファクスまたはＥメール（氏名、居住市町村、所属（勤務先など）、電話番号を記入）で申し込みください。

■**問い合わせ・申込先**
ひろさき未来戦略研究センター（市役所前川本館２階）
☎４０－０６３１　FAX３５－７９５６
メール：hif@city.hirosaki.lg.jp

青年交流会を盛り上げる実行委員大募集！



弘前市青年交流会実行委員会では、独身男女の出会いの場となる交流会を一緒に企画・運営する実行委員を募集しています。

イベントの企画・運営に興味のある人、出会いを探している人、友達の輪を広げたい人など、皆さんの応募をお待ちしています。私たちと一緒に実行委員会を盛り上げましょう！

活動の様子は、実行委員会のフェイスブックでご覧いただけます。

◆**募集対象**　弘前市に居住するおおむね20歳から45歳までの独身の農業者又は農業後継者（男女問わず）

■**問い合わせ先**　弘前市青年交流会実行委員会事務局（農業委員会農政係）
☎４０－７１０４

農地の権利移動・転用等の申請締切は
毎月27日（休日等の場合は前日）です。

書類がそろわないと受理できない場合がありますので、お早めにお願いします。

■**問い合わせ先**　農業委員会農地係　☎４０－７１０４

収入保険制度《出前説明会のご案内》

新制度「収入保険制度」（農業経営者ごとに収入全体をみて、総合的に対応するセーフティネット）の加入申請の受け付けが平成30年秋から始まります。

収入保険制度の３つの特徴

○自然災害・価格低下などを含めた収入減少を補てん
○すべての農業経営品目（農・畜産物）を対象
○農業経営全体（個人・法人）として加入

加　入　条　件

○青色申告を実施している農業者
（現在、青色申告をしていなくても今後、申告を行えば次年度から申し込みできます）

※「収入保険制度」の出前説明会を行っていますので、各地域での集会の予定がありましたら、下記へお知らせください。

■**問い合わせ先**　ひろさき広域農業共済組合
第２事業推進部　担当：成田（裕）・鎌田
☎２８－５７００

農地流動化情報

申出区分	整理番号	農地の所在	現況地目	利用状況	面積	希望価格
売りたい	764	宮地字沢田219－30 外２筆	畑	休耕	201.41a	交渉次第
貸したい	754	中別所字平山 48－119外１筆	畑	休耕	15.75a	10a当たり1,000円～10,000円
	755	中別所字向野135－11	畑	りんご	7.84a	10a当たり1,000円～10,000円
	756	百沢字岸田27－3	畑	休耕	1.49a	10a当たり4,200円
	758	貝沢字沢辺127	畑	休耕	26.96a	10a当たり3,800円～15,600円
	759	十面沢字沢田47－1 外１筆	畑	休耕	2.73a	10a当たり4,000円
	760	十面沢字沢田70	畑	休耕	2.82a	10a当たり4,000円
	761	十面沢字沢田104	田	休耕	26.74a	10a当たり4,000円
	762	十面沢字大面25－1 外１筆	畑	休耕	14.42a	10a当たり4,000円
	763	清水富田字寺田15－2	畑	休耕	22.86a	交渉次第
	765	石川字西ノ沢5－41 外１筆	畑	休耕	23.18a	10a当たり3,000円～5,000円

このほかの情報もありますのでお問い合わせください。

■**取扱窓口及び問い合わせ先**
①農業委員会農地係（市役所前川本館３階）☎４０－７１０４
②農業委員会岩木分室（岩木庁舎１階）☎８２－３１１１内線６１１
③農業委員会相馬分室（相馬庁舎１階）☎８４－２１１１内線８０５

平成28年度りんご産業イノベーション支援事業活動実績 (1)

市の平成２８年度りんご産業イノベーション支援事業に採択された事例を紹介します。

補助事業者	田中　信一氏（認定農業者）
事業の名称	りんご剪定枝回収機の開発による作業効率向上と軽労化の検討事業
総事業費（税込）	1,250,000円
補助金額	578,000円
補助対象経費	りんご剪定枝回収アタッチメントにかかる経費
事業の概要	既存の農機具にアタッチメントを取り付けたりんご剪定枝回収機を開発することで、重労働であった剪定枝回収作業が女性でも可能となり、剪定枝の回収にかかる作業時間が短縮されたほか、肉体への負担が軽減された。



■問い合わせ先　ひろさき未来戦略研究センター（市役所前川本館２階）
☎４０－０６３１

家族経営協定を締結しませんか？

家族単位での農業経営で、経営と生活の境目が曖昧になり役割や就業条件などで問題が生じていませんか。

家族経営協定は、経営方針や役割分担、就業条件、福利厚生などを家族間での話し合いにより取り決めるものです。協定の締結により、経営と生活の境目を明確にできるだけでなく女性農業者の地位向上や後継者の地位確保が図られます。

また、青色申告など一定の要件を満たす認定農業者のいる家族が家族経営協定を締結すると農業者年金保険料の国庫補助を受けることができます。

農閑期のこの時期、目指すべき農業経営の姿や家族みんなが意欲的に働くことができる環境整備について、家族間で話し合いませんか。



家族経営協定に関する詳しい内容や締結までの流れについては、お問い合わせください。

■問い合わせ先　農業委員会農政係　☎４０－７１０４

農業情報は、市のホームページからも！

市のホームページには、各種農業情報や新着情報を掲載しています。



「農業ひろさき」も、ホームページに掲載しており、最新号から、平成20年度までの「農業ひろさき」のバックナンバーを見ることができます。ぜひご活用ください。

◆市ホームページアドレス
http://www.city.hirosaki.aomori.jp/

◆農業情報検索方法
弘前市ホームページ内の
「トップ」→「働く・産業」→「農業情報」

「農業ひろさき」に掲載する広告募集

市農業委員会では、民間事業者の事業活動を推進するため、「農業ひろさき」に掲載する有料広告を募集しています。掲載できる広告は、広報紙の性格上、いくつかの条件がありますので、詳しくは市ホームページでご確認ください。

◆掲載位置　最終面の下方
◆１回の掲載料（いずれも白黒）
・第１号　縦45㍉×横84㍉以内　8,000円
・第２号　縦90㍉×横84㍉以内　16,000円
・第３号　縦42㍉×横180㍉以内　16,000円
◆申込期限　掲載を希望する号の50日前
◆検索方法（市ホームページ）
「トップ」→「有料広告募集案内」→「農業ひろさき」
■問い合わせ先
農業委員会農政係　☎４０－７１０４



謹賀新年

今年も充実した紙面づくりを心がけます。
ご愛読のほどよろしくお願いします。

相馬司幸編集委員長（前列中央）、三上悦治編集副委員長（前列左）、佐藤剛郎編集委員（前列右）
（後列左から）櫻庭潤編集委員、小林政貴編集委員、進藤司編集委員、三上幸雄編集委員